

## 1 直近の活動

3月01日(日)四部会連絡会発足 (繊維・化学・資源・金属)

3月05日(日)幹事会

3月12日(日)技術 세미나6「表面技術」66名

3月19日(日)デジタル技術勉強会座談会12名

3月26日(日)金属部会定例会部会 (3月分) CPD講演+技術者倫理講演、77名

CPDシステム登録オンライン講習会 17名

3月30日(木)四部会連絡会 (第1回目会議)

## 2 今後の活動予定(直近1ヶ月分)

4月02日(日)幹事会

4月08日(土)一次試験合格者交流会

4月09日(日)デジタル技術勉強会オンライン打ち上げ

4月22日(土)金属部会& **YES-Metals!** 合同新合格者歓迎会

4月23日(日)金属部会新合格者歓迎見学会

4月27日(木)四部会連絡会 (第2回目会議)

## 3 部会四方山

今回の四方山は辛口です。▶今年も新合格者がたくさん誕生しています。毎年数十人の新人が部会に参加してくれています。でも、その割には、部会の人数が増えていません。これは、入る人と同じくらい日本技術士会からやめていく人がいるということでしょう。▶技術士会の参加者を増やす話がこれまでも色々議論されてきました。曰く、まだ入会していない人に働きかける。曰く、未入会者へのサービスを従実して、良さを知ってもらおう。曰く、……。▶未入会者へのサービスをすればするほど、入会者へのサービスが入会していなくても受けられる。わざわざ高い年会費を払う必要など不要と言っているような気がします。▶私の頭が古いのか、サービスを受けなければ、入会すればいいと思うんです。私は未入会者へのケアをする時間があれば、入会されている方々へのサービスを充実する、満足度を上げる活動をするのに時間を使いたいと思います。組織の人数を増やすには、やめていく人を減らし、入ってくる人が所属していいよな、僕も貢献したいねと思われるような部会活動をすればいいのではないかと思います。少なくとも「全ての部会活動をボランティアでやっている」現状では、全方位にいい顔はできません。▶部会活動は、参加者の貢献がなければ成り立ちません。またできる限り、虚礼を廃止して、余計な手間をかけないで行きたいですね。ですから、みなさんご意見が色々あるかと思いますが、私は皆さんのことを先生と呼びませんし、できるだけ役職で呼ぶのもやりません。ほとんどの場合は、「さん」です。言葉遣いだけでなく、講演会の時の講師紹介もしません。自己紹介は講演の中で行うし、肩書きも案内に載っているのです。▶新人が入ってくるのと同じペースでやめていく人がいるということはとてつもない危機的な状況だと思います。その人数の人たちは、部会活動に白け切ってやめていくのです。会費を払わなければならないのでやめる人なんていないでしょう。初年度は無料なんてことをやると、それはその人たちの権利を奪っているこ

とではないでしょうか。会費を払って活動に参加するという権利です。▶活動が低調、参加者が増えない理由は簡単です。それは活動がつまらないからです。参加したいと思わないからです。私なら、こう思います。つまらない活動に時間を費やす暇は俺にはないと。技術士の認知度が低いと嘆いて見せても仕方ありません。だって、技術士ですら興味が持てず無視するような活動をしている技術士に誰が満足するのでしょうか。世の中で知っている人が少ない、部会人数が増えないのは、世の中のせいではなく、技術士の活動がつまらないからだと考えて、初めてやるべきことが見えてくる、こういう気がします。プライドや見栄を捨てて夢中で活動している姿、これが見えることだけが活性化への道筋ではないでしょうか。勝手なことを言いました。

## 4 和鐵管見 19

▶近況を話しましょう。以下の文章の通りです。最後に驚愕の結末が待っています。

### 「和鐵の一日」

+++++

#### 【朝のルーティーン】

和鐵は朝、目覚めてからすぐに運動する習慣を持っていた。彼は健康管理支援プログラムに参加し、運動と食事の改善に努めていた。今日の朝食は、自宅で作った野菜スムージーと焼きたまごだった。

#### 【会社での出来事】

その後、和鐵は会社に向かった。彼が所属するチームは、新しい業務プロセスの導入に関するアイデアを社員から募集するプロジェクトに参加していた。和鐵は、自分が考えたアイデアをプレゼンするために準備を進めていた。

会議室に入ると、プロジェクトリーダーがプレゼンの順番を告げた。和鐵は、緊張しながらも自分のアイデアを発表した。そのアイデアは、社員間での情報共有をより円滑にするためのプラットフォームを検討するというものだった。

プレゼンが終わると、チームメンバーからは拍手と称賛の言葉が飛び交った。和鐵は、社員のアイデアを積極的に取り入れる制度の導入によって、自分のアイデアが評価されることに感謝の気持ちを抱いた。

#### 【スキルアップ】

午後からは、和鐵はスキルアップ研修に参加した。彼は、自分の業務に必要なスキルを習得するために、社員のスキルアップ研修の増加に積極的に参加していた。今日の研修では、コミュニケーションスキル向上のための研修プログラムが行われた。

#### 【夜のルーティーン】

研修が終わると、和鐵は自分の家に帰った。彼は、健康管理支援プログラムの一環として、自宅で夕食を作ることにした。今日のメニューは、鶏肉と野菜の炒め物だった。

夕食後、和鐵はストレス管理支援プログラムの一環として、ヨガのレッスンに参加した。レッスンが終わると、和鐵はリラックスした気持ちで、明日の業務に備えて早めに就寝した。

和鐵は、自分の生活や業務に取り入れた取り組みが、自分自身の健康やモチベーション向上につながっていることを実感していた。

+++++

▶なんだか意識高い系の話題で恐縮です。では次の話題はこれです。

## 「脱炭素社会に金属が果たすべき役割」

+++++

脱炭素社会において、金属は以下のような役割を果たすことが期待されています。

### 【1再生可能エネルギー技術の発展】

再生可能エネルギー技術の発展には、金属が不可欠です。風力発電や太陽光発電に使用される風車やソーラーパネルには、アルミニウムや銅などの金属素材が使用されています。また、電気自動車などに使用されるリチウムイオン電池には、リチウムやコバルト、ニッケルなどの金属素材が必要です。

### 【2エネルギー効率の向上】

金属素材を使用した製品は、従来の製品に比べて軽量化や強度向上が可能であり、エネルギー効率の向上につながります。例えば、自動車に使用されるアルミニウム合金は、軽量化により燃費の向上につながります。

### 【3リサイクルの推進】

金属素材はリサイクル性が高く、資源の有効活用に貢献できます。金属製品のリサイクルには、金属の再生に必要なエネルギー量が少なく、二酸化炭素の排出量が削減されるというメリットがあります。

### 【4環境負荷の低減】

金属製品の製造において、省エネルギー・低炭素化技術の導入や、環境負荷の低減を目指すことが求められます。例えば、鉄鋼業界では、創エネやクリーンな製鋼プロセスの開発が進められています。

以上のように、再生可能エネルギー技術の発展、エネルギー効率の向上、リサイクルの推進、環境負荷の低減など、金属は脱炭素社会において重要な役割を果たすことが期待されています。

+++++

▶皆さん、どうです。この2つの文章「和鐵の一日」「脱炭素社会に金属が果たすべき役割」は？結構意識高い系の行動と高尚な環境意識を持って毎日を過ごしていると思いませんか？

実は、「和鐵の一日」は人工知能のNOTION AI、「脱炭素・・・」は最近話題の人工知能のchatGPTに表題だけ打ち込んで、自動作成させたAI文章です。でも、出来上がってきた文章を見ると、「朝スムージー」とか「夜のジム」なんか、「NOTIONは俺のことをのぞいているんかい」という感覚になります。多分、データベースの日記の一部にそんな記述があるんでしょう。でも、この文章を読んでいると、今は会社は卒業しましたが、「そうかこういうふうにごさなければならんのか」と、こちらからAIの記述に行動を合わせてしまいそうになります。chatGPTは、このままでも本に載せられそうでちょっとびっくりです。

▶シンギュラリティが2045年とか言っていましたが、物書きの世界ではもう始まっているのかもしれない。数年以内には「著述業」は失業なのかなあ。そもそも書籍って、一つのコンテンツを大量のユーザーに販売する手段です。一人一人のユーザーに合わせていないという点では、書籍はオワコン（終わったコンテンツ）になっているのかもしれない。薬ですら、個人に合わせた処方箋でその人の遺伝子にあった配合で作られる時代です。書籍も、一人一人にあったコンテン

ツ内容の書籍が売られる時代がもうすぐやってくるような気がします。だいたい、小学生から社会人まで同じコンテンツを読む方が異常ではないでしょうか。

最後に、「和鐵の文章は長い」と評判が悪いので、今回の「和鐵管見 19」をNOTION AIに要約してもらいました。

「このドキュメントは、和鐵の一日と脱炭素社会における金属の役割について述べています。和鐵は健康管理支援プログラムやスキルアップ研修に参加し、自分自身の健康やモチベーション向上に取り組んでいます。また、脱炭素社会において金属が果たすべき役割についても説明されています。」ですって。へえ、すごいなあ。これって誰のこと……。

さて、今回の文章のどの部分がAI、どの部分が和鐵が書いたものでしょうか。

では、ごきげんよう。（最後の1行だけは生身の和鐵の文章です。どうだAIはごきげんようなんて言葉は言えんだらう……一体誰に喧嘩を売っているのか。今、我に帰りました。）